



週報

入間ロータリークラブ

2022-2023 RI 会長:ジェニファー・ジョーンズ RI2570 地区ガバナー:村田貴紀 会長:豊田義継 幹事:木下登

8号 3265回例会 2023年 1月 12日(木)

<ビジター・ゲスト>

フードバンクいるま

代表理事 田中 満枝 様
事務局長 上山 武夫 様

■ ■ 米山功労者

功労者 間野尚会員、馬路宏樹会員

■ ■ R財団寄付表彰

マルチポールハリスフェロー

3回目=宮寺成人会員、後藤賢治会員

1回目=豊田義継会員、新井格会員

ポールハリスフェロー

奥富茂生会員、杉田宏充会員、
細田浩司会員

<入会式>ようこそ入間RCへ!

★職業分類:金属工業・金属加工鋳業
株式会社 柏尾工業所 駒形 一人 様

この度は入会させていただきありがとうございます。精一杯頑張ってお参りしますので、どうかよろしくお願いたします。

ご紹介・菅野茂実会員



駒形さんとは30代の時に商工会議所青年部で一緒でした即戦力になると思います。皆さんご協力ありがとうございました。

❀ 会長挨拶 ❀ 豊田義継会長

新年明けましてお目出とうございます。本年も、皆様の企業の御発展、そしてロータリー活動が充実した1年になることを願っております。



お正月ですので、今日は鏡餅と年神様の話をします。「一年の計は元旦にあり」といわれるように、日本人は一年の節目であるお正月をことのほか大切に考えてきました。お正月の基本は、人々が年をとること、年令を1つ重ねることにあります。お正月にお供えする鏡餅は、その年に収穫された新米で作られ、その餅には清らかな米の霊力が宿ると考えられてきました。ですから、鏡餅は年神様の宿る供物と考えられてきたのです。鏡餅が歳末から床の間などで正月飾りの中心として供えられ、元旦には床の間に家族が正座して、その年の年神様をお迎えし、家々の発展をお祈りしたのです。そして、年神様がいらっしゃる1月7日の松の内まで飾ったのです。この鏡餅を鏡開きの日(1月11日)にぜんざいなどにして食し、一年の安念を願っていました。

鏡餅の由来は、人の魂(心臓)を模したものだといわれ、また昔の鏡が円形だったからともいわれています。大小2つ重ねるのは、福德が重なって縁起がいいと考えられていたからです。最近では時代が変わり、このような日本の伝統文化が忘れられようとしているのは、床の間のある家がなくなってきたことと、それを継承していく文化がなくなったことだと考えています。残念なことです。ちなみに我が家では、200年以上この鏡餅の行事を行なっています。

<幹事報告>

木下登幹事

<協議事項>

1. 2月・3月・4月のプログラムについて
 - ・2/2(木)第4回クラブ協議会
五大奉仕委員長活動報告
第8回定例理事会(西山荘)17:00～開催
 - ・2/16(木)講師例会：日本女子ゴルフ協会会長小林浩美様 入間 RC・入間南 RCとの合同例会
 - ・3/2(木)会員卓話：前地区がバナー水村雅啓会員 前地区幹事 忽滑谷明会員
第9回定例理事会(西山荘)17:00～開催
 - ・3/16(木)講師例会(講師調整中)
 - ・4/6(木)第5回クラブ協議会
小委員長活動報告
第10回定例理事会(西山荘)17:00 開催
 - ・4/18(火) 振替 4/20(木)
入間南 RC との合同例会(夜間)
合同ゴルフコンペ(予定)
2. クリスマス例会「うかい亭」会計報告
3. 豊田年度例会月2回開催
(基本食事は出さない)

<報告・予定等>

- I 2/16(木) 入間 RC・入間南 RC 合同例会
(13:00～13:30) さくら荘ホール
講師：小林浩美様(13:30～14:30)
- 5/28(火)メルボルン国際大会日本人親善朝食会 欠席
- II 1/5(木)入間市新年の集いで感謝状授与



- 1/17(火)入間青年会議所賀詞交歓会
豊田会長、木下幹事 出席
- 1/18(水)入間市国際交流協会第二回理事会欠席
- 1/26(木)次年度万燈まつり実行委員会
田中会員出席

III 1月ロータリーレート 132/\$

★会員各位へ下期会費納入お願いします

委員長報告

[ロータリー美術館]

晝間和弘館長



来週の入間市長年頭所感にてロータリー美術館を開催いたします。多くのお宝を出していただけますようご協力よろしくお願いいたします。

[青少年奉仕委員会]

田中快枝委員長



昨年は大変お世話になりました。今年もフードバンクご協力よろしくお願いいたします。今月も26日にお届けの予定です。

<今月のお祝い>

会員誕生日	水村雅啓君 宮寺成人君 吉沢誠十君 齋藤栄作君 宮崎正文君 新井格君
夫人誕生日	駒形陽子様 大塚珠代様 後藤美智子様
結婚記念日	山岸義弘君(金婚式)

<出席報告>

後藤健委員

会員数	出席数	出席率	前回修正率
37名	24名	68.0%	-----

事前欠席連絡 3名

<ご紹介・新井格会員>

今日は貧困家庭や子どもたちの現状をもっと理解してご協力いただきたく、このような機会を設けました。食べ物に困っている人は、その背景に様々な事情(子育て、障がい、高齢、就職ができない等)を抱えていることが多くあります。フードバンクいるまでは、その方々に応じた支援者・機関とつながり支えることで、暮らしがより良くなるよう応援し、また、そのためのネットワークづくりを行っています。それでは上山事務局長卓話宜しくお願い致します。



■■■講師卓話■■■

《社会資源としてのフードバンクの活動》 フードバンクいるま事務局長



上山武夫 様

フードバンクとは、安全に食べられるのに包装の破損や過剰在庫、印字ミスなどの理由で、流通に出すことができない食品を企業等から寄贈していただき、必要としている困窮世帯や福祉施設、子ども食堂等福祉関連活動団体に無償で提供する活動です。この背景には「食品ロス問題」と「貧困問題」があります。

理念としては食品ロスの削減と困窮者支援そして食を通して共に生き、共に働き、共に暮らす共生社会の実現を目指して活動しています。



印字ミス・梱包破損・販売期限切れ等で品質に問題のない食品を寄贈してもらい、全国各地で 150 以上のフードバンク団体を通し、受入・仕分け・バックギンク・配送・お渡し、ボランティア募集・広報活動を、行政と連携して貧困世帯・児童養護施設・高齢者施設・障がい者施設・炊き出しを無償提供しています。

フードバンクいるま設立は2018年5月市民活動団体として活動開始。フードバンクいるまが活動を始めた時の日本の食品ロスは640万トンでした。2021年10月NPO法人となりました。日本の食品ロスの現状(令和2年度)は6割の食料を海外から輸入に頼る日本。それにもかかわらず、まだ食べられるのに捨てられる食品(食品ロス)は522万トンにのぼります。家庭からは247万トン。事業者から275万トン。フードバンクいるま設立時と比べ食品ロスが減った理由の一つとしてSDGs(持続可能な開発目標)の考えが浸透したことがあげられます。

SDGsは2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年~2030年の15年間で達成するために掲

げた目標です。2015年9月の国連サミットで採決された「世界が抱える問題を解決し、持続可能な社会を作るために世界各国が合意した17の目標」の名称を略してSDGsと呼ばれています。17の目標のうちには、私たちのフードバンクいるまの活動と深く関係する項目がいくつかあります。

『貧困をなくそう』

フードバンクの食料は困窮者支援の現場において、生活立て直しのための支援のルーツとして活用されています。

『飢餓をゼロに』

社会的に弱い立場にいる人に食料品を提供しています。

『すべての人に健康と福祉を』

食料品を提供する事で健康を支え地域で孤立していた人がフードバンクの利用をきっかけに福祉につながるよう行政と連携を取っています。

『住み続けられるまちづくりを』

ゴミとして破棄される食料を減らす事でクリーンでエコな街づくりに寄与します。

『つくる責任つかう責任』

毎日大量に生産されている加工食品を無駄にすることなく、責任をもって有効に活用していきます。

『パートナーシップで目標を達成しよう』

食を通して支援者と共に誰一人取り残さない社会作りを目指しています。行政との連携や企業・団体・個人の方から食品の寄付などの支援をいただくなど、協働しながら活動しています。

スタッフは無償にも関わらず、全員一生懸命活動しています。表には現れないが、食に困っている人は実に多く、そんな方々からお礼のメッセージを貰うとすごく達成感を感じます。行政の手が回らない所を、お手伝いしているという自負もあります。

個人、企業問わず、活動に参加して下さるボランティアも募集しています。今後の展望は現在食料品の提供相手は、主に市の生活支援課からの支援要請者、児童扶養手当を受給しているひとり親世帯を対象としているが、この対象から漏れた困窮者のために、「地区ミニパントリー」と称する活動も展開し、少しでも食に困っている方々をサポートして行きたいと思っています。本日はありがとうございました。



退会された吉永会員の希望で入間クラブとしてフードバンクに寄付金を進呈。

フードバンクいるま

代表理事 田中 満枝 様

本日は多大なご寄付いただき大変ありがとうございました。フードドライブは食品の寄贈等がありますが、それらを維持管理するフードパントリーである事務費や倉庫の電気代等のご寄付とか会員の会費で充てています。設立時の5年前に比べ活動が広がってきており、それを支える資金が大変に逼迫しております。本日もお配りした振込用紙等にて継続的なご協力を今後ともよろしく願いいたします。

《フードバンク》とは
家庭や企業で不要となった食料品を寄付して頂き、様々な事情で食べ物が必要となった人や施設・団体などに無償で提供する取り組みです。

★ 食料品にお困りの方は、入間市役所生活支援課、または社会福祉協議会「困りごと相談室」にご相談下さい。
(サロンや子ども会などで必要な場合、在庫に余裕があれば提供することもできます)

事務局 ☎ 080-6555-9804 メール foodbankiruma@gmail.com
お問合せは 倉庫 ☎ 04-2937-4708 (Fax兼用) 月曜日 11時~15時
(〒358-0033 入間市狭山台4-20-4) 水曜日 10時~12時

<ニコニコBOX> 金井祐一SAA

- 🌟 本年もよろしくお願い申し上げます。
「豊田義継君、木下登君、金井祐一君」
- 🌟 フードバンクいるま田中代表、上山事務局長入間RCへようこそ
「新井格君」
- 🌟 本年もよろしくお願い致します。上山様卓話宜しくお願い致します。
「田中快枝君」
- 🌟 駒形さん入会おめでとう
「一柳達朗君、晝間和弘君、菅野茂実君」

本日¥50,000 累計¥334,000

■回覧、配布物

- ① ロータリーの友 2023年1月号
- ② ガバナー月信 2022年10月号
- ③ 倫風新年号
- ④ ハイライトよねやま Vol. 273
- ⑤ 茶の香めーる Vol. 85
- ⑥ バギオ基金事業報告書, ご寄付のお願い
- ⑦ 入間市長・入間市教育委員会寄付お礼
- ⑧ ロータリーの友電子版パスワード変更
- ⑨ 熊谷RCより細淵会員卓話のお礼
- ⑩ 他クラブ例会週報&お知らせ
- ⑪ フードバンクいるま活動報告
- ⑫ フードバンク寄贈12月受領書
- ⑬ 入間RC週報6,7号

発行 入間ロータリークラブ

■事務所：〒358-0005 入間市宮前町1-10 繁田醤油(株)内 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788
 ■Email：iruma-rc@jupiter.plala.or.jp
 ■例会場：丸広百貨店入間店6Fバンケットホール Tel. 04-2963-1111
 ■例会日：木曜日 12:30~13:30 ■会報委員長：細田浩司

